

平成 14 年 12 月 20 日

第 12 回日本医療薬学会年会 実施報告書

事業名	第 12 回日本医療薬学会年会	
主催者	日本医療薬学会 年会長：大石 了三（九州大学医学部教授・附属病院薬剤部長） 会 頭：乾 賢一（京都大学医学部教授・附属病院薬剤部長）	
後 援	日本病院薬剤師会、日本薬剤師会、日本薬学会、日本製薬工業協会、 東京医薬品工業協会、大阪医薬品協会、日本薬科機器協会、 九州山口薬学会、福岡県病院薬剤師会、福岡県薬剤師会、 福岡県医師会、厚生労働省、福岡県、福岡市	
実施日程	平成 14 年 10 月 19 日（土）・20 日（日）	
実施場所	アクロス福岡 エルガーラホール	福岡市中央区天神 1-1-1 福岡市中央区天神 1-4-2
参加者数	会 員 1419 名（事前 1052 名、当日 367 名） 非会員 961 名（事前 497 名、当日 464 名） 学 生 182 名（事前 64 名、当日 118 名） 招 待 5 名 総 数 2567 名（事前 1613 名、当日 949 名）	
参加費	会 員： 8000 円（事前登録）、10000 円（当日受付） 非会員： 10000 円（事前登録）、14000 円（当日受付） 学 生： 3000 円	
事業内容	メインテーマ「医療と健康へのさらなる貢献」 年会長講演、特別講演（1 題）、教育講演 I・II・III（3 題） シンポジウム I・II・III（13 題） ワークショップ 1・2（一般演題より 14 題） 一般演題 569 題（口頭発表 85 題、ポスター発表 484 題） 特別企画（日本 RAD-AR 協議会と共同主催）（一般公開） 特別講演（1 題）、講演（3 題） 参加者 358 名（学会参加者 252 名、一般参加者 106 名）	

事業実施経緯	平成 13 年 11 月 30 日	第 1 回組織委員会	(博多都ホテル)
	平成 14 年 5 月 10 日	第 2 回組織委員会	(博多都ホテル)
	平成 14 年 7 月 25 日	第 3 回組織委員会	(九大病院薬剤部)
	平成 14 年 10 月 11 日	第 4 回組織委員会	(九大病院薬剤部)

事業成果

全国からの病院薬剤師、開局薬剤師はもとより、医療系大学、製薬企業をはじめ、医薬に関する全ての分野から 2562 名の参加者が一堂に会し、最新の医療薬学関連の研究と実践例について活発な発表・討論が実施され、21 世紀での医療と健康へのさらなる貢献のために実りある情報交換ができた。

また、社会に対しても日本 RAD-AR 協議会との共同主催で「みんなで考えようーくすりのリスクとベネフィットー」を開催し、医薬品の有効性・安全性を確保することの重要性を認識させ、健康増進に大きく貢献できた。